

茅葺き見学&茅葺き体験ワークショップ

対象エリア	池田町稲荷地区
日時	平成26年9月19日（金） 8:50～15:25
開催場所	堀口家住宅
対象者（人数）	池田小学校1年生～6年生 84名 池田中学校1年生 18名 武生高等学校池田分校1年生 12名 合計114名
主催	池田町教育委員会
共催	福井県
講師	松浦建設株式会社 坂本 和幸 氏 ニシオサプライズ株式会社 西尾 晴夫 氏
ねらい	池田町稲荷にある国の重要文化財・堀口家住宅の42年ぶりの保存修理工事に合わせて、次世代を担う子ども達が文化財保存修理現場を見学し、実際に茅葺き作業を体験することで、地元の気候・風土に合った建築材料や住まい方を知ってもらい、地元に残る古民家を大切にす る気持ちを芽生えさせる。
プログラム	1. 文化財の保存修理工事の仕方の説明を受ける 2. 茅葺き作業の様子を見学する 3. 茅について学ぶ 4. 茅葺きを体験する
準備物	・軍手 ・ヘルメット ・わら ・茅葺き作業用の道具（はり、たたき、はさみ） など



国の重要文化財に登録されている、堀口家住宅。42年ぶりとなる保存修理工事に合わせて、地元の子どもたちに見学会および茅葺き体験会を企画した。



まず最初に、堀口家住宅の概要と、文化財を保護する意義について説明した。



保存修理の方法について説明した。
文化財の保存修理では、できるだけ元の材料はそのまま使用し、どうしてもやり替えないといけない部分だけを修理するとのこと。写真では柱の下部40cm程度をやり替えて繋いでいることが分かる。



茅葺き作業中の屋根を足場から見学した。



茅葺きでなぜ雨漏れしないかについて、子どもたちの前で実験をして説明をした。



「世界の茅葺きクイズ」を出題している場面。日本に限らず、茅は世界中で使われている。日本では昔の家に使われているものだと思っている人が多いが、世界では新築で建てている建物でも茅が使われることがあるとのこと。



茅葺き屋根で使われる材料は、ススキだけでなく、稲わらや麻なども使われていることを学んだ。
なお、茅とはススキやヨシやワラなどを乾燥させたものの総称です。



茅葺き体験をする前に、茅葺きに使われる道具の説明をした。



まずは職人が、茅葺きの一連の作業を子どもたちに見せた。



その後、子どもたちは二手に分かれて作業した。
写真は表側で茅を葺く作業をする班。



裏手では茅を結束するためのわら縄を受け取って、垂木に結束する班。



茅葺き体験は、今回のワークショップ用に仮組した場所で、小学3年生以上が体験した。